

6月です。子ども達も私達も 心から待ち望んでいた“喜びの再会の時”が ついに訪れました
全国の緊急事態宣言が解除され、それに伴って 成田市内の自粛要請期間も先月末でようやく終了となりました。子ども達の元気な声と明るい笑顔で、先週まで静かだった保育園は まるで嘘のように
一気に活を取り戻しました。子ども達がいるからこそ輝く 本来の保育園の姿に 心から感謝です
またそれと同時に もう二度と“さみしい保育園”にしたくない、してはならないと痛感しています
ただ、保育園のような場に於いて【3密】を完全に回避するというのは、正直なところ不可能です
抱っこやおんぶなどはもちろん、子ども達とふれ合い 肌を寄せ合い ぬくもりを感じ合うことこそ
幼な子が 何より求めるものであり、この時期の子ども同士にとっても 心を育み合う必要不可欠な
大切なものですから、感染拡大を防ぐための努力と 現実との葛藤を抱えながら、ここまで来ました
当たり前のように思いつながりながら分ち合っていた 空間と時間、無意識のうちに交わしていた「またね！」や
「明日ね」の挨拶、握手やハグなど、関わり 1つ1つの貴さや大切さを しみじみと感じています
こんな風になってみて、「当たり前」を奪われてみて、わかったこと 気付かされたことが たくさん
あります。何より“人が人らしく在る”こと“人と生きる”ことの重さを 考えさせられた時でした
全員が前向き、2020年度の実質的な歩みが 何とかスタートできた今、この時を通して与えられた
様々な想いや感謝を子ども達との日々を生かしていきたいと 心新たに 天を仰ぎ神様に祈りました
けれども、今回の解除宣言については 皆様もご承知の通り、経済的な面に視点を置いてのものです
新型コロナウィルスに関する明確な分析も正しい情報も 対応策も 未だ不明、手探り状態ですから
まだまだ不安と危険に満ちている現状であることに、今まで以上に ひとりひとりが自覚と危機感を
もたなければなりません。この先 コロナが全く消滅するのは難しいとも言われているようですから
“終息”という嬉しいピリオドが打たれる瞬間は、もしかしたら 永遠に訪れないのかもしれない
東日本大震災によって被った『放射能』と同じように、これからは 常に“コロナ在りき”の意識で
命の危険と隣り合わせである覚悟を忘れない生き方を求められて行くことになるのかもしれない
そう考えると、この世界は一体どうなってしまうのだろう…と、ため息ばかりが出てしましますが
けれども、その中に在って、コロナとどう向き合っていくべきか・寄り添うのか・何ができるかを
子ども達を真ん中にして、皆と一緒に心を合わせ、祈りを合わせ、考えていきたいと思っています
「コロナってね、人間のことがだい好きで、人間を見つけると すぐにくっついてくるんだって」
と子ども達に話しました。すると皆は 目をまん丸くして「えっ!? そうなの〜?」「やだ〜っ!」
と大騒ぎしていました。(私)「そう! いやだよ! でも もっといやなのは 目に見えないことなの」
(子)「うん!!」(私)「みんなの洋服とか、こういう壁とか、いろ〜んなところにコロナがいても
わからないでしょ。それが怖い」(子)「うん!!」…と真剣な眼差しで大きくうなづく子ども達。
(私)「知らない間に皆の身体の中に入っちゃって、わ〜い! だいすきになんげんのからだだぞ〜」
って コロナが暴れだしちゃったら、皆は病気になる大変なことになっちゃう」(子)「そっか〜」
(私)「だから大事なのは コロナが皆の身体の中に入らないようにすることなの」(子)「うん!!」
(子)「わかった! 手を洗う〜!」「うかい!」「シュッシュ(アルコール消毒のこと)する〜!」と
あちこちから元気な声で応える子ども達。「そう! 見えないから、どこにいるかわからないんだけど
コロナが狙ってる!」と思って、身体の中に入れないように皆で頑張ろうね! それとね、コロナには
周りにトゲトゲがあって、それで人間にくっついちゃうんだって」(子)「え〜!? そうなの〜?」と
またまた大騒ぎ。「でもね、そのトゲトゲはシュッシュで溶けちゃうんだって! だからねシュッシュ
したら、トゲトゲがなくなるまで しばらく手を組んで待つと やっつけられるって!」この言葉に
子ども達の表情は一斉に明るくなり「わかった!」「こんどからやる〜!」と 手を組んでいました
そして更に続けて、もし皆の中にコロナが入ってきても やっつけられるために「元気で強い身体を
つくること」、それは“いっぱい寝る”“ごはんをいっぱい食べる”“いっぱい笑う”という3つの
“いっぱい”を伝えました。子ども達なりに“コロナの正体”をイメージした様子で やっつけるぞ!
と 勇気りんりん! で受け止めていました。その皆の笑顔とキラキラの瞳はとても頼もしかったです
この笑顔を守るために 真摯に現実と向き合いながら精一杯 心を込めて祈りつつ尽力して参ります
「私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。(ヘブル10:39)」(石田 記)